

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アーバンパレス長丘 新築工	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市南区長丘2丁目4-2、	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	150 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018/2/29 予定	評価の実施日	2016年10月6日
敷地面積	5,077 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	1,028 m ²	確認日	2016年10月7日
延床面積	8,049 m ²	確認者	定森淳一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.1**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3のスコア = 2.2</p>

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		その他
総合	・室内環境、サービス性能に配慮し、居住者が過ごしやすく、機能的で使いやすい空間提供を行っている。	0
Q1 室内環境	・暑気厳寒性能への配慮を行っている。・高い昼光率を確保し、カーテン等でグレアを抑制等、光環境への配慮。・内装材にはF☆☆☆☆、規制対象品を採用し、空気質防止に努めている。・居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している等、自然換気性能の確保に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) ・10%を超える外構緑化指数を確保している。
LR1 エネルギー	・LED照明等の採用等、設備システムの高効率化に努めている。	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率は71%と、地球温暖化への配慮を行っている。・駐輪場、バイク置場、駐車場、機械式駐車場、出入り口3ヶ所設置等、交通負荷の抑制に配慮している。・光害タイラス九ガイドラインのチェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めて
Q2 サービス性能	・光ケーブルを採用している。・防汚性の高い建材を採用している。・45ニ丁掛けタイル貼及び、軟付タイル40年、耐用年数の長い部品を採用している。・空調、給排水管は上位3種が5以上、Eは不使用。・新築クラスAを確保している。・階高2.9m以上を確保し、空間のゆとりに配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	・磁器質タイル、長尺塩ビシートは、リサイクル材を活用している。・防水工事のぶらいまーの採用等、化学物質の使用削減に努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される